

11月の健康状況

- ★新型コロナウイルス・25名
- ★アデノウイルス・・・1名
- ★胃腸炎・・・・・・・・・・6名

感染性胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。

症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。

下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。

嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。家族内で感染するケースも多くみられますので注意しましょう。

低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」が増えています。痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

応急処置

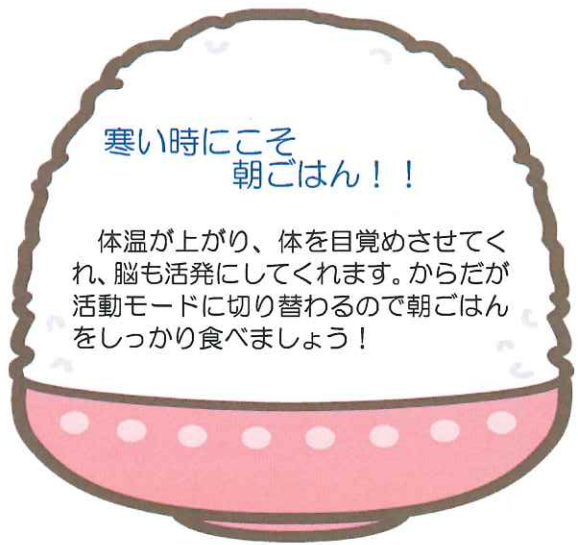


痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分くらいは冷やし続け、その後病院へ。

広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーをかける。その後病院へ。

寒い時にこそ朝ごはん！！

体温が上がりに、体を目覚めさせてくれ、脳も活発にしてくれます。からだは活動モードに切り替わるので朝ごはんをしっかり食べましょう！



インフルエンザの期間の数え方

インフルエンザの登園の目安は、発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していることです。日にちを経過し症状が良くなって、タミフル内服中はお子さまをお預かりできません。よろしくお願い致します。



※この場合、発症後6日目に登園できます。



※この場合、発症後5日経過していても、解熱後3日が経過していない為、すぐには登園できません。発症後7日目に登園できます。

今年度は、コロナウイルスの感染状況も踏まえて、インフルエンザ罹患時の意見書については不要とし、登園届を提出していただきますのでご了承ください。

秋冬のスキンケア 3か条

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげてください。

① たっぶり保湿

保湿剤は、お風呂上がりには必ず塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的。

② 清潔を保つ

顔に汚れなどが付いていたらきれいにふいて。お風呂ではごしごしこすらず、せっけんを泡立てて優しく洗います。

③ 刺激を少なくする

直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧め。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとに。



正しい手洗いを

手洗いで予防できる病気はたくさんあります。正しく洗って、健康に過ごしましょう！

せっけんを泡立てて……

